

ニュースレター目次

- 州のパイロット活動を再開
コンポントム州、トボークモム州
シェムリアップ州
- コロナ禍の影響に対応した支援

活動のアップデート

- 2020.4
《本邦研修の実施準備》
《コンポンチュナン州》
 - ・ エンドライン調査データ整備《シェムリアップ州》
 - ・ 研修実施準備《コンポントム州》
 - ・ パイロット活動候補地の選定《トボークモム州》
 - ・ ジェンダー統計ブックレット完成
- 2020.5
《コンポンチュナン州》
 - ・ エンドライン調査データ整備《シェムリアップ州》
 - ・ 研修実施準備《コンポントム州》
 - ・ 簡易フィージビリティ調査まとめ
- 2020.6
《シェムリアップ州》
 - ・ ビジネス研修セッション 5、6 実施《トボークモム州》
 - ・ 簡易フィージビリティ調査実施
- 2020.7
《コンポントム州》
 - ・ 第3回 WEE-WG 会合
 - ・ 計画ワークショップ開催《シェムリアップ州》
 - ・ ビジネス研修セッション7実施《観光分野のインパクト調査、衛生管理セミナー、観光 PR 支援の準備》

JICA ホームページ、JICA カンボジア事務所の Facebook でも随時活動を紹介しています。
<https://www.jica.go.jp/project/cambodia/023/index.html>
<https://www.facebook.com/JICACambodia/>

州のパイロット活動を再開

2020年3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、カンボジア国内における州間の移動が制限され、複数人数での集会の禁止や女性省のオフィスへの出勤制限などにより、州レベルのパイロット活動を中心に、ほとんどのプロジェクト活動の実施を見合わせていました。その後、女性省カウンターパートやプロジェクトスタッフとの定期ミーティングや研修の準備作業を続けながら、新型コロナウイルスの影響が少し落ち着いた6月中旬から、カンボジア保健省のガイドラインに沿って活動を順次再開しています。日本人専門家の渡航はまだできないため、引き続きカウンターパートとはオンラインでの打合せ、技術支援、意見交換、活動準備、活動の振り返り等を行っています。今後もマスク着用、消毒剤を利用した研修前後の手指やテーブルの消毒、窓やドアを開けた換気、ソーシャルディスタンスの確保など感染予防に努め、日本人専門家による遠隔支援をしっかりと行いながら、カウンターパートやプロジェクトスタッフと協力して活動を進めていきます。



計画ワークショップの参加者
(コンポントム州)



研修前の検温
(シェムリアップ州)

コンポントム州

コンポントム州では、7月29日から31日の3日間に、第3回 WEE-WG 会合の開催と計画ワークショップを実施し、州での活動対象地、活動の目的と大まかな活動内容について、州女性子ども委員会議長、WEE-WG メンバー、女性省で合意しました。パイロット活動の対象地は、フィージビリティ調査の結果から選定条件に照らしてスコアリングを行い、WEE-WG で協議したうえで、サンボーコミュニティ（ラタン・竹製品）とプレイクイコミュニティ（小規模な野菜栽培・養鶏）の2つが選ばれました。続く計画ワークショップでは、主に女性省カウンターパートがファシリテーターとなって、各村で特定されたジェンダー課題から問題分析、目的分析を行い、パイロット活動の内容を整理しました。この計画ワークショップには、日本人専門家の出席はありませんでしたが、事前ミーティングでの専門家からのインプットや綿密な打合せによって、女性省カウンターパートは自信をもって



計画ワークショップでの問題分析・
目的分析の実施の様子
(コンポントム州 7/29-31)

ワークショップを実施できたようです。次回の WEE-WG では、パイロット活動のプロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) と実施計画を検討し、活動の詳細を計画する予定ですが、今後もカウンターパートのこうした積極的な取組に期待しています。

トボークモム州

6月23日～25日の3日間に、4つのパイロット活動候補地で、活動地選定のための簡易フィージビリティ調査を行いました。この調査は新型コロナウイルス感染拡大のため延期していましたが、ようやく実施できました。



簡易フィージビリティ調査でのフォーカスグループディスカッション (トボークモム州 6/23-25)

WEE-WG議長(副知事)及び州女性子ども委員会議長、連携省6名、WEE-WGメンバー12名、女性省カウンターパート7名が3チームに分かれ2名1組となり、①コミュニティ長や村長へのインタビュー、②農民との男女別フォーカスグループディスカッション (FGD)、③小売業者・卸売業者へのマーケット調査を実施しました。②のFGDは、女性省カウンターパートと女性局が中心となり実施し、③のマーケット調査は、商業省と商業局が中心となってもらうことで、関係省・局の巻き込みを図りました。調査は概ね順調に終了し、①②③の結果をもとに、活動の対象地や内容について検討していきます。

シムリアップ州

シムリアップ州の活動についても、4月から5月にかけてオンラインを中心に、日本人専門家と女性省カウンターパートとのミーティングや研修準備を進めました。



ビジネス研修でのセッションの様子 (シムリアップ州 7/13-16)

活動再開後、6月

22日～26日、7月13日～16日にコンボンプルック村のビジネス研修で、女性省カウンターパート、女性局、連携省、連携局が協力してセッション5、6、7を実施しました。日本人専門家も、セッションの合間の休憩時間等を利用して、研修の進捗状況や参加者の理解の様子などを確認し、セッション開催を遠隔で支援しました。日

本人専門家にとっても初めての経験で、無事にセッションが終えられた時はほっとしました。セッション5は「顧客分析」、セッション6は「生産計画」、セッション7は「ビジネス環境」として「ホスピタリティ」と「5S」をテーマに研修を実施しました。いずれのセッションもターゲットグループの女性が20～25名参加し、熱心な態度で研修に取り組みました。研修テーマに関連し、農村開発省、農林水産省、観光省、工業科学技術革新省からも参加してもらい、省庁間のジェンダー主流化とプロジェクトの活動内容の理解促進を図りました。

ジェンダー統計の普及

プロジェクトではパイロット活動をしている4州についてジェンダー統計ブックレットの作成を支援しています。女性局と計画局が中心になって、州各局から必要なデータや情報収集を行って作業して



ジェンダー統計ブックレットの普及 (トボークモム州 6/10)

います。トボークモム州のブックレットが完成したので、6月10日に会合を開催し、州局や郡、関係機関へ配布されました。今後も定期的にデータが更新され、州レベルでのジェンダー主流化の促進に活用されることが期待されます。

コロナ禍の影響に対応した支援

プロジェクトでは、コロナ禍の影響に対応した支援として、シムリアップ州やコンボントム州の観光分野で働く女性に着目し、コロナ禍が女性たちにどのようなインパクトを与えているかを把握するための実態調査を女性省と共に行います。また、その結果からどのような支援が必要とされているか女性たちのニーズを特定し、プロジェクト内で対応できる取組について検討していきます。さらに、観光省、女性省と連携して、コミュニティによる観光振興 (CBT:コミュニティ・ベースド・ツーリズム) や小売に従事する女性を対象とした衛生管理に関する研修の実施について調整を進めています。また、今後、国内外からの観光客を呼び戻すことにつながるような観光PR動画を、観光セクターで活躍する女性に焦点を当てた形で作成することも検討中です。コロナ禍による観光セクターへの打撃は大きいですが、プロジェクト活動を通して少しでも女性たちの状況を改善できるように取り組んでいきたいと思ひます。